



▲ 最近の鈴木先生

害児の世界を大きく変化させてきております。むかしよく見られた痙攣性対麻痺やアテトーゼ型脳性麻痺は殆ど見ることがなくなり、一方で知能障害などを伴い重度化してくる重症心身障害児の発生が数倍になつていると言わわれております。当然合併症治療に対する医療機能が必要とされ、また家庭私共の施設も、この七月にみど

りえてくくださる後援会の皆様方、理事・評議員の皆様方のお陰と感謝しております。

近年の周産期医療の進展は、障

害園から船橋先生を迎えておりました。昨年からら意欲的に進めてきた外

科の平沢先生・原田先生のご協力のもと、外に誇れるヘテランスタッフがそろつたと喜んでおります。

昨年からも多摩療育園から船橋先生を迎えていた外来の重視とあわせ、地域の障害児

のものと、外に誇れるヘテランスタッフがそろつたと喜んでおります。

今年六月以来、東京小児療育病院・みどり愛育園に接し、暖かい生活の場と明るい仕事の場が一致していることに感謝しております。これもひとえに支えてくださる後援会の皆様方、理事・評議員の皆様方のお陰と感謝しております。

着任一年を経て

No.17(昭和60年)
社会福祉法人鶴風会
後援会

東京都武藏村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区本町2-15-13 ☎03-372-7650



後援会ニュース

後援会ニュース17号をお届けします。

昨年、御着任の鈴木康之施設長のごあいさつ及び父母の会会长、竹中広夫氏の「福祉の心」を掲載いたしました。

社会福祉法人鶴風会

東京小児療育病院
みどり愛育園
施設長 鈴木康之

やつと、さわやかな秋になりました。

皆様方には益々御健勝のことと存じます。

昨年六月以来、東京小児療育病院・みどり愛育園の子供達と職員に接し、暖かい生活の場と明るい仕事の場が一致していることに感謝しております。これもひとえに支えてくださる後援会の皆様方、理事・評議員の皆様方のお陰と感謝しております。

着任一年を経て

り愛育園が二病棟になり、年長児に対応できるよう体制を変えつります。早期療育を目標とする東京小児療育病院の東西病棟とあわせて、障害児のトータルケアをめざした新たな四病棟体制になりました。とくに後援会のご協力で医療機器を中心とした病院諸設備も改善でき、また訓練・看護スタッフの研修も順調にすんでおります。医局も多摩療育園から船橋先生を迎え、整形外科の平沢先生・原田先生のご協力のもと、外に誇れるヘテランスタッフがそろつたと喜んでおります。

昨年からら意欲的に進めてきた外来の重視とあわせ、地域の障害児との信頼を得られることをとれるような内容のある施設にしていきたいと考えております。

今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

(鈴木康之氏 昭46年長崎大学医学部卒、神奈川県立こども医療センター、国立武藏療養所を経て

東京小児療育病院へ)

はどういうものか、どうあらねばならないか等いろいろ話し合いました。しかし電車の中あるいはバスの中で席をゆずつてあげても当然のことだといわんばかりにお礼も言わない人がいるとかえって嫌悪感をいたくという方がおりました。

福祉というのに代價はなく、又それを求めてはなりません。席をゆずつてもらつた人も乗物を降りてから「あー助かった。どうも有難うございました。」と心の中で言つてゐるかもしません。

私がまだ若い頃、子供が東京小児療育病院に入院して半年目、年末始の外泊の時でした。当時はまだ車を持っておりませんでしたので国鉄の立川駅から中央線に乗りました。私と家内はただオロオロしていますと初老の御夫婦が寄つてこられ、子供の手足をなせ、背中をさすつてください、「大丈夫ですよ。すぐおさまりますから。私達もこのような子供をもつてお

りましたが十八才でなくしました。どうぞ頑張つてくださいね。」といつて私がお礼を申し上げるまもなく新宿駅で降りていかれました。人ごみの中に消えてゆく後姿に有難うございました、と頭を下げた時のことを話し、御理解を得ることが出来ました。

顔、形がいくら美しくあつても心の中がいやしかつたら人間との価値はなく、反面貧しくとも、美人でなくても心豊かな人はどう美しいものはありません。折にふれ反省し、おのれを戒めたいと思ひます。

読売新聞のボランティアの会の方々、又学生さんが勤務先の休暇をとり、又休日を利用して病院へお手伝いに来てくださつております。

チャリティ バザール

60. 10. 27(日) 9.00 ~ 16.00

東京小児療育病院訓練棟



チャリティ・バザールも回を重ねまして、今回は第9回となりました。毎回多くの方々の温かい御寄附と多数の協賛会社の御支援により、成果をあげておりますことを心より感謝しております。今年は10月27日(日) 9.00~

開催を予定しております。

食料品・調味料・ウイスキー・石けん・洗剤・玩具・書籍・陶器・漆器・衣料品・手芸品など御寄附いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

- お品物は御連絡いただければ受取りに参ります。
- なお、お送りくださる場合は10月20日迄に到着するよう御手配いただけたら幸甚に存じます。
- 連絡先

病院 東京都武蔵村山市学園4-10-1

☎ 0425(61)2521

後援会 東京都中野区本町2-15-13

☎ 03(372)7650



1. 国電立川駅北口下車立川バス箱根ヶ崎行にて新道下車徒歩5分
2. 西武新宿線玉川上水駅下車立川バス村山團地にて第5小学校前下車徒歩10分

後援会寄附者御芳名

バザー寄附者をふくむ

五九·十一六〇·八

・浅利重子・天野まき

青木よし子・安西美

工・安倍マサ・安東敬

・厚味かよ子。芦立か

新潟子・足立喜

子 澄美不治 安仁

安康健美新天地

穂。市川高吉。今野信

九・飯國桃夜・伊藤

子・稻垣玲子・石田文

雄・伊東力メ・石原

子・一宮勝也・伊藤八

一・市川ハナ子・岩上

子。今西昶子・石原たか

子。居合寿子。飯塚萬

子・伊藤薫子・飯野龍

子。石橋幸夫。今井ま

洞 飯山恒子 曰井津
君子。曰屏重三。内方崎二

・浦田じめ子・牛込荘

清江先生集

法・梅田みほ子・鶴養澤

承子・荏原光夫・荏原吉

信・江川
嚴・遠藤

丁・大久保秀雄・荻原す

子・岡田孝子・小田川

樹・大脇照枝・大本・
小子・大熊進・大熊は